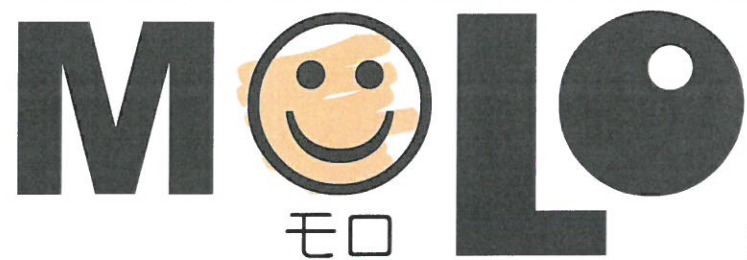


店舗お役立ち情報

〒815-0083 福岡市南区高宮3丁目11-8
TEL: 092-522-3330 FAX: 092-522-3332
<http://www.misezukuri.com>



有限会社リード・クリエーション発行.2013年

2013年
2月号

No.140



* ビジネスマナーの基本！挨拶は人を動かす 「挨拶の学校」が開校!! ~校長:竹内明也さん(タケウチ トモヤ)

昨年MOLLO9月号で、デール・カーネギーの「人を動かす」という本を紹介させて頂きました。「人を動かす」の意味は、力で相手を動かすのではなく、相手が自ら動いてもらえるような関係を作ることを教えています。

今回、紹介させて頂く「挨拶の学校」の竹内明也さんは、まさにそのことを教えています。

竹内さんは、前職の佐川急便で、挨拶が人間関係の根本にある事に気付き、独学で挨拶の語源から行動のあり方について研究と実践を重ね【挨拶の達人】になりました。

2000年にランチェスター経営の竹田先生のもとで、経営戦略を勉強してからは、企業研修や講演で、挨拶が職場を元気にすることを伝えていきます。また、社員さんや就職を控えた学生さんには、ビジネスで活かせる実践的な挨拶というテーマで、聞き方や伝え方、汲み取り方などを伝えています。

そんな竹内さんが、今年から「挨拶の学校」を立ち上げました。

人と人とのコミュニケーションの始まりは、まず挨拶からであり、その挨拶の不十分さが、ビジネスを落ち込ませている原因だと語っています。ここでは、単に学んでもらうだけでなく、学んだことを職場ですぐに、活かしてもらえる講座があります。

- ① 聞き方を学ぶインタビュー講座
- ② 働くことの意味を学ぶ講座
- ③ 販促の仕方。(特にDM等の配布物の配り方を一緒に回することで身に付けてもらいます。)等、他にも実践形式の講座があります。

挨拶は、ビジネスの基本だけでなく、人と人との信頼関係を築く上でも重要なことです。と、竹内校長は、語っています。

□挨拶の学校 〒812-0013福岡市博多区博多駅東1-1 1-5アサコ博多ビル10F 再生クラブ内

校長 竹内明也 Tel: 090-5723-0993 Fax: 092-413-2870

日本初 挨拶の学校



「挨拶」は、受け答え、応答、返事。
「挨拶」は、先手必勝倍返し。
ビジネスの根本は、「挨拶」で、まず相手に心を開いてもらうこと。



リード・クリエーション・プロデュース 『お気に入りのスマートフォンケースに出会えるONE SELF』天神店

11月27日に「ワンセルフ天神」がオープンしました。iPhoneやAndroidスマートフォン向けアクセサリが全国最大級の2500種以上揃っています。「心地良い“セルフ”空間の提供」をコンセプトに、「見て」「試して」「触って」選べるショップです。12月に東京に出店した2号店でも、ショップデザインをさせて頂きました。(J)

天神店
福岡市中央区天神3-4-3大隈ビル1F
TEL 092-791-3446
営業時間 10:00~21:00
定休日 なし

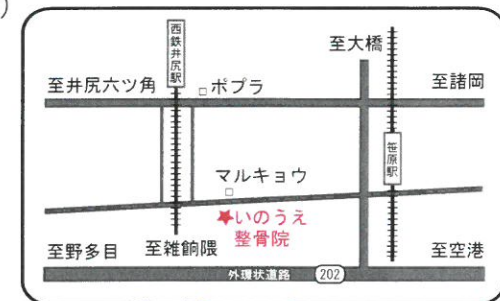


原宿店
東京都渋谷区神宮前1-8-24
<http://1self.jp/>

リード・クリエーション・プロデュース 『心も体も元気になれる、いのうえ鍼灸整骨院』

1月7日、井尻駅近くにいのうえ整骨院がオープンしました。笑顔で明るい整骨院をめざすという井上院長のご希望で優しく落ちついた雰囲気の内装にしました。心も体も元気になって帰っていただく地域密着型の整骨院です。(J)

福岡市南区井尻3-25-31 YM2ビル102
TEL 092-572-2779
営業時間 8:00~13:00
16:00~21:00
定休日 日曜祝日



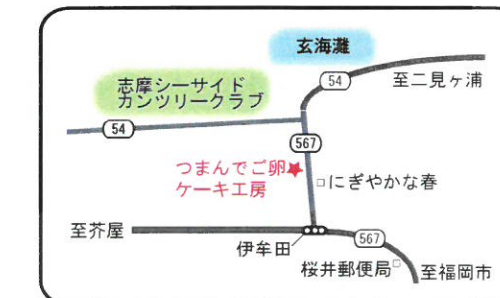
<http://inouesinkyusei.com/>

リード・クリエーション・プロデュース 『つまんでご卵ケーキ工房(本店)』が、リニューアル

糸島の大自然の中に建つ「つまんでご卵ケーキ工房」。今回は販売スペースのディスプレイ、レジカウンター、カフェスペースのいすをリニューアルしました。また照明や床を変更して、森にたたく工房のイメージを演出しました。素材にとことんこだわったロールケーキがオススメです。(J)

糸島市志摩桜井5234
TEL 092-327-5850
営業時間(平日) 11:00~17:00
(土日祝) 10:30~17:00

定休日/毎週火曜日
<http://www.natural-egg.co.jp/>



編集後記

もう~2月...といえば、豆まき。私が小学生の頃、我家では必ず豆まきをしてました。まだ寒い戸外に撒く為、窓を全開にして「鬼はあ~外!福はあ~内」。恥ずかしさも、囁く様な声の私たち。すると「声が小さい!」と、母からダメだし。当時は、父親不在の高度成長期。母の号令は絶対で(笑)「近所のひろし君ちもやってるやない。負けんごとね~!」と、やり直し。ウチが大きな声になると、ご近所からも響いてくる「鬼は外~」。2つ年下の弟に「年の数だけやけんね」と、念を押し(笑)こたつに入って頂くお豆さん。風流とは言い難いけど、物は無くても思い出あり...かな。最近、そんな声も聞かれませんか。それって近所迷惑ですか?(笑)どなたか家で撒くならば、デッカイ声で「鬼は外~!」と是非♪

BY. みちか